

寄せ太鼓

第 1 号
平成13年3月15日発行
北九州市立長崎街道
木屋瀬宿記念館
運営協議会広報部会
☎619-1149

長崎街道木屋瀬宿記念館運営協議会

記念館の管理・運営を行うために地元の皆様（62名）で構成された組織で、その組織は次のとおりです。（敬称略）

なお、次号以降に各部会の委員名や役割等についてご紹介します。

理事長 安川 常雄 副理事長 高宮 歳継

部会名	役職名	担当理事名
管理運営事務局	事務局長	数住 昌子
広報部会	部会長	本松 達也
〃		千々和 裕
史料館運営部会	部会長	水上 裕
〃		山本 政史
こやのせ座運営部会	部会長	柴田 泰助
〃		藤 嘉量

記念館のご利用について

- 休館日 毎週月曜日（ただし、その日が祝・祭日、振替休日の場合は、翌日）
- 開館時間
 - みちの郷土史料館 午前9時から午後5時30分（入館は午後5時）まで
 - こやのせ座（利用時間） 午前9時から午後10時まで
- 入館料（使用料）
 - みちの郷土史料館 一般200円 高校生100円 小・中学生50円
 - こやのせ座 午前、午後、夜及び平日、土、日（休日）により、料金が異なります。ご利用の際は、事務室にお問い合わせください。
- こやのせ座の使用申し込み

舞台・ホール等を合わせて使用する場合は6ヶ月前から、それ以外（和室等）は1ヶ月前から使用申込みができます。また、利用者は市内、市外居住を問わず利用できます。
- こやのせ座の利用方法（飲食を伴う場合）
 - ① 土足でのご利用の場合は、ホール及び通路にビニールシートを張る必要があります。その費用は利用者の負担となります。
 - ② 素足、スリッパ履きでご利用の場合は、ホール内のみビニールシートを張ることになります。費用は利用者の負担となります。
 - ③ 2階の使用はできません
 - ④ 飲食を主目的とする和室のみの使用はできません。
 - ⑤ 使用時間は、後片付けを含んで午後5時まで。ゴミはすべてお持ち帰りいただきます。
- ふれあい宿
 - ① 使用時間 午後6時から午後10時まで
 - ② 使用申込み方法 使用する前の日までに、事務室に申し込んでください。
 - ③ 下記に該当する場合は、利用できません。
 - ・ 飲食、宴会を主目的とする会合
 - ・ 営利を目的とする会合や展示会
 - ・ 未成年者のみの会合及び各種イベントや記念館事業の開催中
 - ④ 経費の負担 ガス代、冷暖房代は負担していただきます。
 - ⑤ その他 責任者は業務終了後、清掃、火の元の始末、戸締り等を確認し、事務室に届け出のうえ、料金を納入してください。

木屋瀬宿まち並み案内ボランティア募集

木屋瀬地区内外から、木屋瀬宿のまち並みを見学に来られたお客様（1グループ概ね10名以上）の希望により、ボランティア活動として、まち並みを案内していただける方を次のとおり募集します。

- 1 年齢等 満20歳～65歳 性別不問 健康な方
- 2 知識、経験 いりません。後日研修を行います。
- 3 1回当たりの案内時間 約60分
- 4 手当、制服 なし
- 5 申込方法

はがきに住所、電話番号、氏名、生年月日、性別を記入のうえ下記までお送りください。
締め切りは、4月6日（金）消印有効
〒807-1261 八幡西区木屋瀬3丁目16-26
北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館内
運営協議会事務局 ☎619-1149

〇みちの郷土史料館企画展・こやのせ座の催しもの(3月)

日（曜）	時間	行事名(内容)
開催中(25日まで)		企画展・江戸時代の村庄屋 松尾家
17日(土)	19:00	こやのせ座出前コンサート (弦楽五重奏)
25日(日)	10:00	遠賀川ふれあい交流事業 文化と芸能まつり in 木屋瀬宿 (周辺市町の伝統芸能披露)
25日(日)	14:00	田部俊彦ジャズコンサート
30日(金)	19:00	ふれあいこんさーと (日本のうたと世界のうた)
31日(土)	19:00	木屋瀬よしもとゴールデン劇場 (福岡吉本コントライブ)

*お問い合わせは記念館まで ☎619-1149

広報部会の委員紹介

「寄せ太鼓」は広報部会の委員が中心となって発行しています。これからもよろしく願いします。

部会長 本松 達也
委員 千々和 裕、米永 博實、野口 靖彦、伊藤 征剛、矢野 圭樹、北崎 隆喜、柴田 由美子、小河内 励子

川俣正コールドイン川下りプロジェクト

世界的な造形美術家 川俣正氏を中心となり、輸送船（川ひらた）を再現し、田川から洞海湾への川下りを行います。木屋瀬で停泊し、イベントを開催します。

日時 平成13年3月28日（水）
場所 こやのせ座
内容 13:00 福田屋裏の銀杏の土手下に停泊
14:00 公開放送劇
「木屋瀬むかし物語鮎の化身」
・新地の故高鍋定次郎さんが残したテープを参考に劇を構成。言葉も木屋瀬の貴重な文化のひとつです。
15:00 川俣正氏基調講演
木屋瀬の文化トークセッション

入場無料。みなさんお誘いあわせのうえどうぞ。

2001年メモリアルコンサート

女声コーラス いちょうの会

日時 平成13年4月22日（日）
開場 14:00 開演 14:30
場所 こやのせ座
入場料 700円

「春のいざない」「女声合唱組曲・水のいのち」など美しいハーモニーと、九響弦楽四重奏団の素晴らしい演奏をお楽しみください。
チケットのお問い合わせは、617-1034 数住まで。

筑前木屋瀬

お祭りの「うつつおまつり」

お祭りのごつつおまつりは、故岩尾四十三郎さんの著書「ひろき庭」の中にあります。今回、岩尾家のご好意により、寄せ太鼓の中で取り上げることができました。正月より順次紹介してゆきます。
注 原文のまま掲載します。

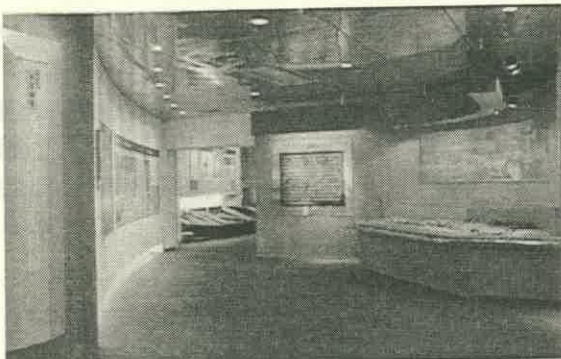
正月（むつき）
さうに（三ヶ日）
〇餅は丸餅〇すめの汁〇具・こぶ・するめ・にいじん・ごぼう・かいらし・いたけ・みづな（数がいみる）・一番上に鯛を載せろ（煮ちのする〇箸は栗あいばし）〇おくりあいがよくなること〇おぜんの上にはゆずり葉を一枚しいて、めつなぎをニコンのする。

「みちの郷土史料館」案内
史料館運営部長

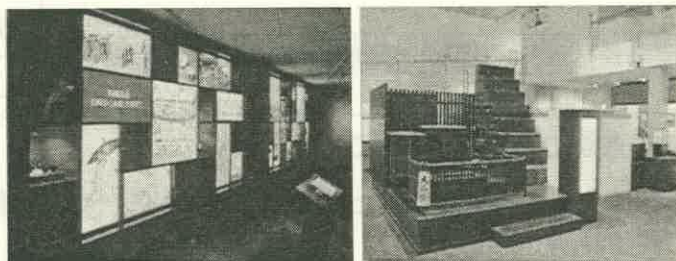
水上 裕

展示のテーマは「長崎街道と木屋瀬」で、演出のテーマは「旅」です。したがって一階入口で、中世から近世にかけての木屋瀬を、陸路・水運の中で解説し、歩を進めると、什器・髪飾具・古文書・昔の貨幣・商家の店先・酒醸造の道具等、江戸時代を想像させるものを展示し解説しています。

二階へのスロープに足を入れる所には、二百六十年間、旅人と語り合った追分道標を立てています。今、西構口の前にレプリカが立っている位置に建っていたものです。



1階 入口付近



2階 情報街道

1階 店の間

スロープは石坂の坂や冷水峠を想定させ、時間を決めて壁面に十五分程度ナレーションつきで、大名行列を投影します。二階は筑前六宿の解説に始まり、主に江戸時代の「旅」の携帯品を置き、更に、長崎街道を情報街道として解説したり、又映写室では木屋瀬宿に休泊した人達や、木屋瀬出身の偉人の紹介をしています。最後の広い部屋では、明治から昭和初期にかけての木屋瀬を、歴史・生活・年中行事等の面からとらえて展示説明しています。例えば「石炭と木屋瀬」・「劇場と楽しみ」・「野面

面の商店街」・「水との闘い」・「明治二十二年の町並み」・「中島橋の変遷」等。特色としては、特に小学生が楽しく学べるコーナーと、皆さんが手に取って理解されるコーナーを用意している点です。最後に、史料館で味わって頂いた感動の後、実際に歴史に残る町並みを歩いてもらいたい願いから一階への降り口に、宿場内の史跡や神社仏閣の図解をし、併せて長崎街道二十五宿の写真を掲げています。

以上の外に、一階に用意している部室として、現在江戸時代の村庄屋松尾家の古文書等を展示している企画展示室と、小学生児童用の体験学習室とがあり、この効用を充分に果たしたいと念じているところです。

特に地元の皆様には、何かとご協力を頂いて出来ている点、心から感謝申しあげ、なお今後とも親しくしてくださいることをお願い申し述べてご案内いたします。



まちをあげて祝福

木屋瀬地域成人祭

教育委員会生涯学習課

松尾 知幸

一月八日、「木屋瀬地域成人祭」が長崎街道木屋瀬宿記念館で開かれた。

今年成人を迎える木屋瀬中学校の卒業生を中心に約七十名が参加、当時の担任の先生や家族から祝福を受けた。

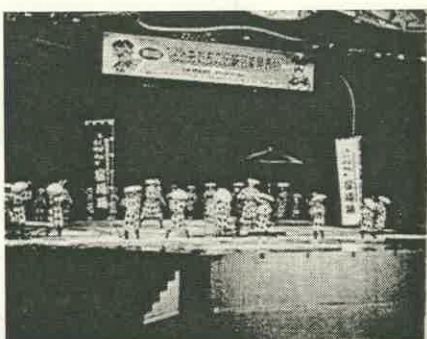
同館運営協議会安川常雄理事長は「人生には様々な困難が待ち構えていると思います。それらをひとつひとつ乗り越え、たくましい大人になってください。ひとりひとりが自分の人生に誇りを持てるようなそういう生涯を送っていたきたいと思います。」と挨拶。アトラクションに入ると会社社員、



地域成人祭会場（こやのせ座）

学生、主婦とそれぞれの道歩んでいる新成人は、父母を中心とした地元スタッフの用意した料理に舌鼓をうちながら、久しぶり会う仲間と記念撮影をしたり、中学生の頃の思い出や近況などを熱心に語りあっていた。

また当日は福岡よしもとのタレントも祝福に駆けつけ、木屋瀬の次代を担う若者達の門出をおおいに盛り上げた。



スペースワールドのステージ

宿場踊り保存会子供部会

大活躍！

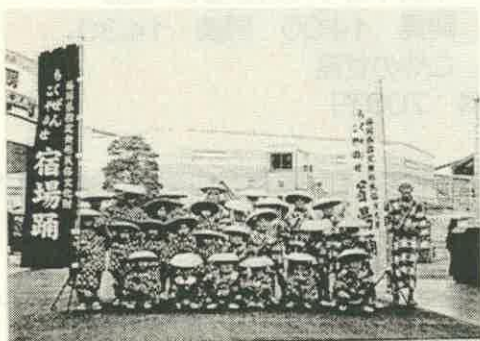
宿場踊り保存会

藤 嘉量

さる二月十日（土）スペースワールドにて、北九州近郊の子供達に招かれ、「子どもたちの伝統芸能発表会」が行われ参加いたしました。

朝九時から十五時三十分まで十五グループの子供達が、とてもすばらしい「演技」「演奏」をしていました。そして宿場踊りは、大勢の人達からひととき大きな拍手をいただきました。

これもご両親の協力と、中・高校生のお兄さん・お姉さんが中心となって発表会前、四日間「こやのせ座」で夜七時から八時三十分まで、個人、集団、入退場の練習と、みんな一生懸命練習した結果だと思えます。これからも「こやのせ座」を使用させていただき、みんなが自信をもって楽しみながら練習をしてくれたらいいなと思えます。



スペースワールドで記念撮影

伊馬春部と木屋瀬

目になれし山みえてゐる
くもりぞら
橋をわたればしぐれ来にけり

この歌は、「新萬葉集」で選定された十六首の短歌のうちの一首です。大正十五年、国学院大学予科に入学した最初の夏休みに帰省してふるさとを詠んだものです。山は福智山系で、橋は遠賀川にかかる中島橋です。

ふりかへりふりかへり見る
坂のうえ
吾子はしきりに手をふりてをり

この歌で、昭和五十一年（一九七六年）宮中歌会始の召人に選ばれています。（この年のお題「坂」）

ほのぼのと語りつづくる
うれしさよ

大きな銀杏は実をもちにけり

この歌は、大正末期〜昭和初期伊馬春部の初恋の歌といわれています。

甲比丹も鶉ととも泊りけむ
木屋瀬の宿ふるさとにして



みちの郷土史料館 来館者の声

○ えどじだいはこんなものをつかっていたとべんきょうになったし、たのしかった。（八幡西区・小学生・男）

○ 木屋瀬にも記念館があるとはしりませんでした。又、足をこびに来ます。勉強になりました。（小倉北区・三十代・男）

○ なかなか見ごたえがありました。おもしろかったです。いろいろ工夫されていて良かったです。双眼鏡で見る町並は素晴らしかったと思います。（小倉北区・五十代・女）

○ とても興味深く見させていたいただきました。時間がなかったので今度ゆっくり来たいと思います。（遠賀郡・五十代・女）

○ 旧資料館に比べると格段の内容で感心しました。大変立派でした。（北九州市・六十代以上・男）